

BREAK BORDERS GAME BY JUNIOR LEADERS' CLUB

プレイ人数:3~6人

内容物:ボード、塀、協力旗、解決旗、国カード、ハプニングカード、財産カード、労働力カード、おたすけカード(製作中)

はじめに

差別や戦争は他者を理解しようとせず、自分の価値観を正しいものとして中心に考えてしまふことから起きます。このゲームでは、異なる価値観を持つ国の代表同士で協力してハプニングを解決していきます。自らがそのキャラクターとなり、仲間と協力してハプニングを解決することで、国と国の間にある巨大な塀を倒すことが共通の目標です。ゲームを通して、知らず知らずのうちに背景の異なる他者を思いやる気持ちを身につけることが可能となるでしょう。

ルールの概要

このゲームではハプニングカードを順番に引いていきます。カードを引く順番が4周し、全ての塀が倒れていたら、目標達成です。勝敗をつけたい場合は、協力旗が一番多いプレイヤーの勝利です。

また、場合によっては全員がゲームオーバーになることがあります。ハプニングカードを引く順番が4周しても、塀が全て倒れていなかったらゲームオーバーです。プレイヤーが一人でも財産カードと労働力カード*がゼロポイントになってもゲームオーバーです。

カード・旗の説明

- ◇ 財産カード:ハプニングカードにある問題を解決するのに使います。
- ◇ 労働力カード:ハプニングカードにある問題を解決するのに使います。
- ◇ ハプニングカード:国に起る様々なハプニングや、それを解決するために必要な財産カードや労働力カードのポイントなどが書かれています。
- ◇ 国カード:6種類の国あります。初めにもらえる財産カードと労働力カードのポイントや、その国でしか使えない能力などが書いてあります。
- ◇ 協力旗:ハプニングカードにある問題を解決するのを手伝うともらえます。最後に協力旗の数で勝敗が決まります。
- ◇ 解決旗:ハプニングカードの問題を解決するともらえます。解決旗が3つたまと塀を倒すことができます。

議論の仕方

議論は、銀行員を中心に行われます。議論の時間は3分です。まず、1回目は、それぞれハプニングカードに書いてあるハプニングの解決策を順番に発表します。次に、それぞれの意見を聞いたあと、自分の意見と組み合わせるともっと良くなると思う発言をした人とチームを組みます。意見を組み合わせるとチームを組む場合、チームの人数は3人までとします。そして、2回目に他の人と組み合わせた意見を発表します。ハプニングカードを引いた人は、その意見が一番良いと思ったチームの意見を選び、そのチームの人達には1人一つずつ協力旗が配られます。ハプニングを解決するのに必要な財産や労働が足りない場合、援助してもらおうことも出来ますが、援助してもらおうときは援助する側が銀行に財産5を支払わなければなりません。

塀の倒し方

1つの国に解決旗が3つたまると右か左どちらかの塀を倒すことができます。カードを引き4周する前に、塀を全て倒せるよう、頑張りましょう。

ゲームの準備

1. ボードを置き、そこに塀をたてます。
2. 国カードを配り、それぞれの国に置きます。
3. プレイヤーの中から銀行員(財産カードや労働力カードを配ったり、議論の司会をする人)を決め、銀行員が財産カードと労働力カードをそれぞれの国カードに書いてある分だけ渡します。
4. ハプニングカードをませ、山にして置きます。

ゲームの流れ

- ① ジャンケンでハプニングカードを引く順番を決めます。
- ② 一人ずつ順番にハプニングカードを引いていきます。
- ③ ハプニングカードを引いた人がカードに書いてあることを読み上げます。
- ④ そのハプニングカードの問題について議論します。解決したら、解決旗を立てます。
- ⑤ 4周したら、ハプニングカードを全て引いてなくてもゲーム終了です。その時点で塀が、
 - ・全て倒れていなかったら…ゲームオーバーです。国と国の理解が深まらず、戦争が起きてしまいます。
 - ・すべて倒れていたら…目標達成です。国と国の親交が深まり、もっといい国となるでしょう。この場合、協力旗を一番たくさん持っていた国の勝利です。